

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	個別の介護記録を見直し、記録方法を検討する。	問題点、計画に沿った援助内容などを携わるスタッフが、利用者の生活状態や援助状態が分かり、説明できる記録とする。	書式内容（記述欄）の変更 特記欄を設け、それまで計画作成担当者が記録していた介護計画に対する観察記録・問題、家族に対する対応記録も介護記録に併せて記録する。勉強会にて記録方法を指導・学習させ、統一した記録内容とする。	3ヶ月
2	66	より開かれたグループホームとしたい。	地域開放行事の継続と、いつでも地域の方達が立ち寄れる開かれた事業所となりたい。	毎月発行のさざん家だよりに、施設開放等の文言を入れ、地域・介護保険課・包括支援センター・他の事業所等に配布し周知をしたい。また施設開放の意義をスタッフに説明・理解させるなどの教育を行う。訪問者が気持ちよく訪れる事業所としての雰囲気作りを図る。	24ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。